

家庭・地域との連携

家庭、地域の中で安心して
生活してほしいという思いを教科書に

地域社会で安全に生活できるように、
地域とのつながりに配慮するとともに、
家庭内では自分の存在価値を子ども自身に感じさせるように
家族単元を設定しています。

上巻 P.4~5, 8~9 通学路の安全



いきいき

どう したら よろこんで





上巻 P.74~75

家の自分の役割や、自己的ことは自分でする
(自立)を示し、自己肯定感や自立心を養います。

もらえるかな



家族単元では、お手伝い偏重の内容に陥らないように、「家族に喜んでもらいたい」という思いをもって、子ども自身が積極的かつ自発的に家庭の中で自分の役割を果たせるように、展開を工夫しました(上 p.70 ~ 79)。



上巻 P.67 日常的な伝え合い



上巻 P.101 おじいちゃん達とも

家族単元から地域へと子どもたちの意識の広がりを演出しました。
下巻の町たんけんは主に地域に出ての活動となります。その際にも、
上巻の意識がつながるように配慮しました。



下巻 P.68 町たんけんでも広がるえがお



上巻 P.79 地域に広がる意識